

## 洗剤の安全性確保の考え方(概要)

「実使用場面で安全に使用できる製品(内容物)を設計する必要がある。」

そのために、

1. 用途、使い方などを確認し、予見される様々な場面を想定して、安全性確保の範囲を明確にする。
2. 科学的な安全性評価を行い、製品の有害性ポテンシャルを把握する。
3. 実使用場面で安全に使用できるかどうかをリスク評価する。
4. より安全に使用できる容器や内容物組成などを検討する。
5. 安全に使用するための情報を消費者に伝達する。